

おぢか

議会だより

第110号 2019.12.22



議会主催のシンポジウムにて

contents

オヂカのミライとギカイとデアイト。 . . . 2 ~

平成30年度決算審査 6 ~

松枯れ対策に3億6千万円以上の追加補正 10 ~

町長！ 納島・斑島にも避難所を！ 14 ~

町長！ 国土強靱化地域計画策定を！ 16 ~

町長！ 町民を巻き込んで総合計画策定を！ 19

町長！ 住民センターの建替えは？ 20 ~

オヂカのミライとギカイとデアイと。



少子高齢化、国際化といった流れの中で、小値賀のミライはどのように描けるのでしょうか。今回、「オヂカのミライとギカイとデアイと。」というタイトルで、地域の未来をどのように描いていくか、その担い手は誰かなど、町民の皆さんと思いを共有する場として、小値賀町議会主催のシンポジウムを開催しました。

ゲストには、議会改革の第一人者でもある山梨学院大学教授の江藤俊昭先生と、東彼杵町新人議員の林田二三さん、長与町新人議員の八木亮三さんをお招きしました。

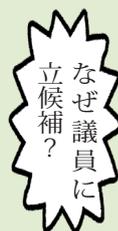
また、地元若手代表として、藤田耕司さん、迎真琴さん、升水遥平さんにもトークセッションのパネラーとして参加していただきました。



忙しい中 多くの町民の皆さんに参加していただき ありがとうございます

長与町議 八木亮三さん

3年くらい前から傍聴に行ったり議会に興味を持つていたんですが、この人たちに任せておいて大丈夫かな? と感じる人も中にはいたりして、これなら私がやったほうがましだ、と思って立候補しました。



東彼杵町議 林田二三さん

このままで、この町で住み続けていくのはほんとうにどうだろうって思ったときに、女性の議員つてやっぱり必要なんじゃないかなと思って立候補しました。



基調講演

地域の未来を誰が担うのか？



山梨学院大学 江藤俊昭教授

(要旨)

議会の魅力は

地方自治の発想は、住民に開かれ、議員間討議をし、政策競争をすること。議会には多様な人たちがいる。だから議論する。住民を巻き込んでいろいろ議論する。それをしっかりとやることが、議会の魅力だ。

なり手不足問題は

投票で選挙がないと、政策や選挙公約のチェックができなくなる。4年間やってきた人の事後のチェックができなくなる。これは大きな問題。小値賀町議会は新しい議会に向けて舵を切っている。しかも最先端。それにも関わらず、今回の無投票当選。私にはショックだ。

一緒に議論を

人口減少社会の中で、この地域をどこに向けていくか決める、今がそのすぐく大事な時期。これは行政が考えるだけでも、議会が考えるだけでもない。住民自身が小値賀をどうするか。財政的な負担をどうしていくかを真剣に議論しなければいけない時期だ。フォーラム(討論を行う場)としての議会、住民と議会、町長などが一緒にやって議論する空間をつくりだしていく。多くの住民に関わっていただくことが重要だ。

未来を担うのは

答えは決まっている。住民だ。

議会は議員のためだけではなく、住民がしっかりと関わって、住民のための政策提言や監視ができていくかどうか。大事なポイントだ。

そのためには報酬などの条件整備が必要だ。今の小値賀町の議員報酬は18万円。自分が責任をもってやるとすれば、どのくらいの報酬だったらいいか、皆さんが考えなければいけない。皆さんの問題だ。

トークセッション

①オチカのみらいは明るい？ or 暗い？ 何が足りない？

～会場の皆さんやゲストのいろいろな声～

- これからどう変化をつけられるかで、明るくなる可能性は十分ある。変わるとういいな。
- 閉店している店が多く、残していく努力をしないと、今のままでは商店街はなくなってしまうんじゃないかな。
- 今のままでは暗いままだと思います。今でもほとんど人が少なくなっていて、その影響で商店街のシャッターが下り始めていると思うので、その策を考えたら変えられると思います。
- 江藤 外から来ると、やっぱり小値賀町ってすごい豊富な資源持っているでしょう。いろいろなところに発信できるわけですよ。それをどうやって活用するか。
- ミライを明るくするも暗くするも、皆さんの問題でしょ？
- はい、これが結論。

②オヂカのギカイは好き？ or 嫌い？

～会場の皆さんやゲストのいろいろな声～

● 役場の職員ですけれど、すぐ忙しいです。現状もわからず、あれをやら、これをやら、と言われるので大嫌いです。

● どちらかを選ぶと言ったら嫌いか…。こういう会が開かれることによって、ちよつと変わってくるなどは思います。

● 好きな理由は、例えばこのような会を開くことになったから。自由な雰囲気を感じられます。

● 議会を知ることがあまりないから、こういう会とかをやったら、学生も興味を持ち、好きになると思います。

● 嫌いです。今回初めてこういう形をしているので、今後の議会は明るくなって好きになってくるのかもしれない。

でも、やっぱり議員一人ひとりを見ていると差があつて。

● 若手とか女性の議員のなり手がいないのは、出る杭は打たれる、女性はあんまり目立つと叩かれる

るっていう、そういうのが小値賀には残っているからだと思います。

ただ気持ちだけでは活動できないので、例えば先輩や今の議員が自分の持っているスキルを教えあげるといふか、そういうサポートがあれば、おのずと出る方がいらつしやると思います。

江藤 昨年、男女共同参画推進法が施行されたが、地方自治体も責任持たなきゃいけないんです。

だからむしろ、町はそれに向けてどんな行動計画を立てられているのか聞きたいところです。

具体的に動かないと、「女性大事ですよ」って言つても、増えないよね。普通の人が議員になれるような仕掛けをつくつていくことが大切。

③どのような議員にデアイたい？

～会場の皆さんやゲストのいろいろな声～

● このような場をつくつてくれるような議員に出会いたい。

● 自分が本当にやりたいことを、住民を巻き込んで旗振りをして引つ張つていくような議員に出会いたい。

● 子どもたちの様子や親の様子を見て、声をかけてくれたりする。こちらからも相談したいことを気軽に話せるような議員がいてくれたらな。

● 男性でも女性寄りの人が出てきてくれたらな。

● 八木さんのように型にはまっていない人も必要かな。

● 若者の中に入って、意見を吸い上げてくれる頼りになる議員が増えていくといいな。

● 国や県の言いなりにならない、国や県とけんかができる議員が1人か2人くらいいたらいいんじゃないかな。

まとめ

江藤 やっぱり小値賀町ですすごいなつて思ふのは、こういうフラットな場で議員と住民が話せる空間ができるつてこととね、本当に多様な方が来てくださつてる。

学校教育はもちろん大事ですが、行政や議会に関わつて、本当にそれが身近なことでも、しかも意見を言ったことが実際に動くんだよつていうほうが、すごく大事な主権者教育になるんです。

だからフリートークとか模擬公聴会などを実践する中で、実感として政治が近いんだ、行政が近いんだつていうことが、まさに主権者教育につながるかなと思います。

今日のこのような場が、本当に日本の新しい時代を創つていく。

小値賀を創つていくことが、新しい時代を創つていくことになると思います。



新しい時代は君たちのために



終了後にアンケートを実施
その結果と分析はこちら

定例11月会議



傍聴に来てくれた小学6年生の真剣な表情に 議員も身が引き締まります

財政計画をたてて町民に説明を

施設インフラ維持に多額の支出が必要

今回の定例会は、平成30年度歳入歳出決算認定がメインです。監査委員からは、今後、施設インフラの維持管理に多額の支出を要することから、財政計画を立てて町民に説明をするようにとの指摘がありました。決算特別委員会（末永一朗委員長）にて各会計を慎重に審査した結果、全員一致で認定しています（6ページ）。

松の樹幹注入薬剤 2億5千万円追加

枯れた松の伐採にも1億2千万円追加

各会計の令和元年度補正予算の議案も、すべて全員が賛成し、可決成立しています（10ページ）。

役場嘱託職員 処遇改善 「任用職員」に

パートタイムがフルタイムが 4月から

条例の制定では、来年度から始まる「会計年度任用職員」に関する議案に質疑が集中しましたが、条例改正の議案も含め、すべて全員一致で可決成立しています（12ページ）。

平成30年度 決算審査



【一般会計】

決算特別委員会での主な質疑

観光地には駐輪スペースが必要では

問 五島列島のおもてなし協議会の負担金の使いみちは。

答 滞在型でもう一泊を勧めるもので、キリシタン物語の催行や、レンタサイクルが足りないため自転車を購入し、サイクリングツアーやガイド育成などに利用した。
問 ツアーがどこまで商品化されているのか、その購買力も見えてこない。作っただけで終わらず、進めていただきたい。ガイドは何人育成したか。

答 島外から専門家を招き、アイランドツーリズム協会の2名が受講した。

問 自転車を推進しているのに、島内の各施設に駐輪スペースがない。

答 各施設で駐輪スペースを考えるなど、しっかりと受け入れ体制を整えていきたい。

問 需要は増えてきているので、場所を決め、周知するよう関係団体とも協議していきたい。

問 五島列島の島々横断交流拡大・移住プロジェクト業務の評価と移住者の人数は。

答 移住者パンフレットを4500部作成し、移住者相談会等での配布や電話相談の折に郵送し有効活用している。

移住者は16人で、業務の効果はあったと考えている。

問 情報発信を行う地域おこし協力隊事業について、情報発信の検証はしているか。

答 SNSでの発信を中心にフリーペーパー作成を行い福岡市内に設置している。年度末に実施された「わろてんか劇場」は町内外に発信した。

問 決算審査意見書に記載の、総務費全体の予算執行率が71%余りと低い原因は。

答 原因を分析すると予算組みが甘い状況が見られるので、各課にしっかりと予算を組むよう依頼する。



自転車の利用が増えています

「とーちゃんの会」も作っては

問 地産地消推進事業補助金の内容は。

答 「ふるさとの味・かーちゃんの味 つたえよー会」に対する補助金。

小・中学校での郷土料理教室の材料費やクリスマス会、みそ作りの材料費のほか、活動に参加した人に支払う謝金も含まれている。

問 次の世代につなげる取り組みは。

答 おぢか新聞を活用し、レシピを紹介したり、かまぼこ作り教室を開き、楽しさを伝えることが大事で、それをPRしようとしている。

問 「とーちゃんの会」を作って、魚さばきを教えたりしてはどうか。

答 男性にも何か考えていきたいと思う。

問 旧斑小学校の消防用設備などの点検費用8万6400円に対し、使用料収入はいくらか。

答 使用料収入としては1300円だ。

問 点検は必要なのか。

答 他の施設と同様、火災に対応できるように点検しており、適正な支出と考えている。

問 ホームページ改修業務の主な内容と、改修後に閲覧数は増えたのか。

答 改修は、役場のホームページの移住関係が主で、改修後、月当たり3000ビューほど増え、効果は出ている。

問 総務手数料で4万8400円の収入未済があるが、何か。

答 町税の督促手数料が484件発生したため。

船瀬海水浴場に監視員は必要か

問 船瀬海水浴場の監視業務は必要なのか。誰も泳いでいないのでは。

答 県営の海水浴場で町が管理を委託している。海水浴場として公安委員会に届け出をしておき、監視員を置く必要がある。

監視のほか、海岸施設の掃除もしている。



活用方法を考えたい船瀬海水浴場



柿の浜にこそ監視員が必要なのでは？

キャトルセンター早く利用開始を

問 キャトルセンターの現状は。

答 完成しているが、宇久・小値賀ではまだ利用していない。

今は地元の牛が入っているが、利用が始まれば出てくれることになっている。

問 農家の負担を減らすため、早期に利用できるようにしてもらいたい。何か問題があるのか。

答 増頭するにはキャトルセンターが一番だが、生後何カ月で送るかという問題がある。

宇久の牛市の統廃合の問題もある。

これから農家と農協と市場との話し合いを進めていく。

問 海水浴場としてのメリットはあるのか。

答 海水浴客は少ないが、緑地の利用はある。

問 柿の浜海水浴場は海水浴場として届け出はしていないのか。

届け出をすることで、プレジャーボートの進入が禁止されるなど、安全性が向上するのでは。

答 県の漁港海岸ではないため、届け出はしていない。

【特別会計】

決算特別委員会での主な質疑

◆渡船事業◆

予備費は補正
で対応を

問 予備費の全額が不用額になっている。なぜか。そもそも特別会計では「予備費」は計上しないのが本来ではないか。

答 一つ燃料が高騰するか、修理が必要になるかわからないので予備費を計上していた。

結果的に、そのようなことはなく、不用となった。

問 地方自治法には、特別会計では、予備費を計上しないことができる、とある。小値賀町議会は通年会期制をとっている、いつでも本会議を開くことができ、予算を補正することができる。

答 予備費を計上するな、とは書かれていない。縮減は考えるが、これからは計上していく。

◆国民健康保険事業◆

特定健診の受
診者増えたか

問 特定健診勧奨事業委託の内容は。

答 国保連合会に各町が委託し、特定健診を受けたことがない人や最近受診していない人に受診を勧める通知を194件出した。

問 件数のわりに委託料が高いと感じる。効果はあったのか。

答 通知だけでなく、回覧やポスターで受診を勧めた結果、受診率の向上につながったので効果はあったと考えている。



◆介護保険事業◆

収入未済額が
大きいのは

問 被保険者の保険料の収入未済額が大きい。なぜか。

答 65歳になって新たに被保険者になる人が、年金から自動的に徴収されるまでの間、現金で支払う期間があり、そのため未納となる人が多い。

制度を良く説明し、納付していただくようお願いしている。



◆簡易水道事業◆

臨時雇いの人
数は適正か

問 水道メーター検針の臨時雇いの人数は妥当か。

答 2カ月に一度、3日間の業務を3人2班体制で行っている。1人がボックスのふたを開けて

メーターの数値を読み、2人目がその数値をハンディ端末に打ちこみ、3人目が検針票を家の玄関まで持っていく。この体制は維持していきたい。

問 経営戦略作成業務の主な成果は。

答 本町は小値賀地区と大島地区に分かれており、それを一つに統合することで、効率的な運営ができるようになる。将来的に人口減少が続けば、使用料の値上げも視野に入れる必要があるというのが主な内容だ。

◆下水道事業◆

収入未済がな
いのは立派だ

問 2年続けて収入未済がないのは立派だ。徴収努力の結果によるものか。

答 そうだ。これからはがんばって徴収努力を続けていく。

問 下水道接続率がなかなか上がっていないように。今後、どのように推移するか予想は。

答 接続率は今のところ順調に伸びている。今後は人口減少もあり、水道料金とのセットになるが、使用料を上げるを得ないかもしれない。経営の健全化をこれからも図っていきたい。

◆国民健康保険診療所◆

受入謝礼金とは何か

問 諸収入に研修医・実習生受入謝礼金があるが内容は。

答 離島での臨床研修※①の受け入れに対する国からのものや、長崎大学の医学部の実習生受け入れに対する大学からの負担金のようなものだ。

問 診療所入口のテントが傷んでいるが、修繕しないのか。

設置費用は高かったと思うが、使えないもの・無駄なものにお金を使うのはいかがなものか。

答 状態が良くないのはわかっているが、一定の役割は果たしている。

今後は、このような意見も参考にして、診療所運営に取り組みたい。



雨水がたまり 破れているところも

※①「臨床研修」

医師法に基づき、診療に従事しようとする医師は、2年以上、臨床研修を受けなければならない、とされています。

医師が、医師としての人格を育み、将来専門とする分野にかかわらず、医学と医療の果たすべき社会的役割を認識しながら、一般的に診療の機会が多い負傷や疾病に適切に対応できるように、基本的な診療能力を身につけるために行われる研修です

お知らせ

議会モニター7名決まる

小値賀町議会では「議会モニター」を設置しており、今年度、新たに7名の方に就任していただきました。町民に開かれた議会、町民とともに歩む議会の実現には、町民の皆さんの協力が必要です。

議会モニターメンバー（順不同）

浦いせ子さん 筒井愛子さん 松永清美さん
江川春朝さん 太田信孝さん 長谷川雄生さん
山川浩さん

議会モニターって何するの？

本会議や委員会を積極的に傍聴し、議会運営に関する意見や提言を行います。

議会のホームページやFacebook、議会だよりに関する意見や提言を行います。

誰でもなれるの？

町内に住んでいる満16歳以上で、議会運営や町政、小値賀町のいろいろなことに関心のある方ならどなたでも。高校生も大丈夫です。

報酬はあるの？

通常はありません。

期間は？

2年間です。

定員は10名
あと3名募集中
詳しくは議会事務局まで

補正予算

(令和元年度)

【一般会計】 補正して 39 億 2800 万円に

(主な質疑)

松枯れ対策に3億6千万円以上追加

「守るべき松」すべてに樹幹注入

振興基金2億6千万円以上取り崩し

問 補正額が大きいが必要な内容は。

答 今残っている「守るべき松林」すべてに樹幹注入するための薬剤約9万本の費用と、枯れた松の伐採費用約1億2千万円が主だ。

問 振興基金※②を切り崩すことになるが、また何年後かに切り崩す可能性はあるか。

答 樹幹注入すると薬剤は6〜7年と言われている。

そのころ、また切り崩しになる可能性がないとは言えないが、とにかくいつたん松枯れの進行を食い止めたい。

問 6〜7年ごとに樹幹注入するのか。

答 松への負担が大きいことから、松の状況を見ながらになる。



1本の太い松で薬剤7〜8本を使用

※②「振興基金」
小値賀町の条例では、「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を推進するためにこの基金を設置しています。
この目的を達成するための経費の財源にあてる場合だけ、取り崩すことができます。
平成30年度末の残高は、約9億9749万円です。

松枯れ対策が主となる林業振興費の予算

前年度予算総額	4 億 1067 万円
(うち今年度に繰越)	2499 万円)
補正後今年度予算額	6 億 5337 万円

「家族で移住」引越し費用を一部支援

問 家族で移住とは何か。何の支援か。

答 離島留学制度の一つで、子どもと親と一緒に移住する制度だ。

3月までの間に、引越し費用の3分の2、上限30万円を2家族分計上している。まだ実績はない。

問 小値賀から離れた場合は返還することになるのか。

答 1年以上住んでいれば返還は求めない要綱になっている。



高校の修学旅行はシンガポール？

問 北松西高校魅力化推進事業補助金の増額は何か。

答 令和2年度から、小中高一貫教育の中の英語教育の集大成として2年生の海外研修を予定しており、その下見費用だ。

問 どうして当初予算に入れなかったのか。

答 今年度の途中で計画が浮上したため。

問 渡航先の予定は。

答 シンガポールかマレーシアを考えている。



【特別会計】

渡船事業	47万円増額	7061万円に
国民健康保険事業	2096万円増額	5億1496万円に
後期高齢者医療事業	18万円増額	4558万円に
簡易水道事業	154万円増額	7714万円に
下水道事業	105万円増額	1億5995万円に
国民健康保険診療所	907万円減額	4億4193万円に

各特別会計予算の補正は、前年度繰越金額が今回の決算認定で確定したため、それに伴う一般会計への繰入金によるものが主な理由です。

国民健康保険診療所の減額は、医師2名分の予算を計上していたものの、医師1名しか確保できなかったため、代診などで対応し、減額となりました。



新診療所完成予想図

新診療所

基本設計が終わりました。

RC造一部2階建

計画延床面積 = 約 2,175㎡

(現診療所建物 = 約 1,743㎡)

今後、詳細な実施設計を行い、建築工事へと続きます。

トピックス

いよいよ着工 ボーディングブリッジ



ボーディングブリッジ完成予想図

待望のボーディングブリッジ（可動式の搭乗通路）工事が始まりました。
完成後は、現在の正面玄関横からエレベータか階段で2階に上がるため、船から降りる人の流れと、船に乗る人の流れが重なり、混雑・混乱が予想されます。
増設のため、位置的にこの形にならざるを得ないようですが、議会では、人の流れを明確に誘導するサインが必要だと指摘しています。
また、特に高齢者などに対し、椅子の配置や優先乗船の対応も必要です。
工事中や完成後、見送りの人の安全確保についても、しっかり対応するよう求められています。

条例制定

「働き方改革」の一環で フルタイム任用かパートタイム任用か 「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」

来年度から期末手当支給へ

長時間労働、非正規と正規との格差、労働力不足などの課題を解消しようと、国は「働き方改革」を進めています。

その一環として、「会計年度任用職員制度」が始まることから、当町でも関連条例案が提案されました。

現在の嘱託職員の制度は、一日の労働時間により、フルタイム任用職員とパートタイム任用職員の制度に変わります。

フルタイム任用職員には、給料のほか、時間外勤務手当、夜間勤務手当、期末手当などが支給され、パートタイム任用職員には、報酬と期末手当が支給されます。

(主な質疑)

問 そもそも正職員と同じような仕事をするなら、正職員を増やした方がいいのでは。

答 確かに事務の軽減にはつながると思う。しかし実際に正職員を募集し、採用試験を実施しても、なかなか増えないのが現状だ。

問 全国の自治体の中には、期末手当を支給する分、基本給を下げようとしているところもあると聞く。

それでは本来の目的からは逸脱してしまう。

問 当町ではそのようなことではないか。

答 処遇改善が大きな目的であり、そのようなこととはない。

問 この制度により、どのくらい支出が増えるのか。

答 今の水準でいけば、令和2年度に2千万円、令和3年度には3千万円以上増えることになりそうだ。

問 国からの財政支援は今のところないと聞いている。

問 国が処遇改善を図れというなら、その分、国が負担するのが当たり前だと思う。

答 総務省に強く要望すべきでは。

問 交付税で対応する話も出ているようだ。

答 県内各市町からの要望を国に出す方向で考えている。

問 任用職員は現在の嘱託職員をそのまま採用するのか。募集するのか。

答 公募し、選考する。必要に応じ、面接も行う。

問 任用職員だけでなく、正職員も働き方改革が必要で、小値賀町役場もしっかり対応すべきだ。

答 業務の見直しを図っている。正職員の働き方改革にもつなげていきたい。

「農地等災害復旧事業分担金徴収条例」

町が行う農林地の災害復旧事業の際に、その費用の一部を受益者から分担金として収めていただくことについての条例案です。

問 受益者とは誰を指すのか。

答 直接利益を受けるもので、土地所有者や使用者を考えている。

問 特別の理由がある場合は分担金の減免も可能だと書かれている。特別の理由とは。

答 家屋の損傷も発生した場合や、経済的な理由などを想定している。



経営状況報告

町は、町が出資する法人について、毎年、経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出する義務があります。

今会議で、小値賀交通株式会社と一般財団法人小値賀町担い手公社の、平成30年度の経営状況の報告がありました。

(主な質疑)

小値賀交通株式会社

問 昨年と同様に、町から90万円の補助金が出ている。

答 高齢者の足の確保という点からも、補助はやるを得ないと考えている。

問 事業計画の営業外収益の中に「引き続き運営補助金を受ける。」とあるが、初めから補助金ありきはおかしいのでは。

答 適切ではない。指導していきたい。

問 観光客の増加を踏まえ、日曜日のバスの運行を検討していたはずだが。

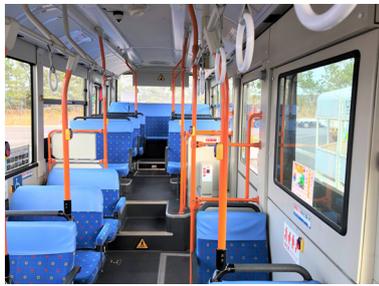
答 検討はしているが、なかなか利用率が上がらない中で、運転手の手当の増額も難しく、実現に至っていない。

問 1台当たり平均で何人の客を乗せているか。

答 具体的な数字は把握していない。

問 数字による分析は必要だ。将来、今のままのバスでいいのか、もっと小型化や違う手段の検討も必要だ。

答 バスだけでなく、総合的に検討を進めていく。



バスに代わる交通手段の検討も

問 町民に対しての説明会のようなものが最近は開かれていない。もっと事業説明をすべきだ。

答 ここ2年ほど開かれていないようだ。多岐にわたる事業に携わっていることや、今後の事業説明を周知してほしいと、町としても考えている。

問 トマトやタマネギの苗を外注しているのはなぜか。

答 農業研修の指導員が不在のため外注となった。指導員は引き続き募集している。

問 水産加工品の販売収入が284万円余しかない。水産加工場の指定管理を受けていながら、この金額はどう考えるか。

問 2つの加工場の指定管理者だが、現時点での町としての評価は。

答 実際に、町内に他にこのような事業を担っている組織はない。次の指定時には、公募も含めて選定方法を検討していきたい。

一般財団法人小値賀町担い手公社

問 人材確保が難しいが、3年の間には軌道に乗せるようにしていきたい。

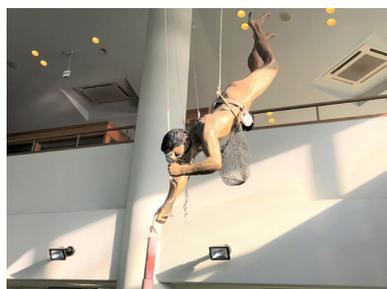
答 基本となる成果ができてくれば、漁業者の収入確保や雇用の創出、販売力増加にもつながる。町も一緒に努力していきたい。

問 目標や計画の数字が甘くはないか。

答 ペイするにはこのくらいの数字が必要だということ、現実離れしているのは確かだ。

問 あわび館2階の展示品はこのままでいいか。

答 手が回らず、以前から内容が変わっていない。2階の展示スペースの必要性も含め、公社と協議していきたい。



貴重な資料もあります

一般質問

一般質問では、町のいろいろなことについて、町長等に説明を求めたり、所信を尋ねたりします。

町長!

「指定避難場所について」

今田議員

納島・斑島にも避難所を

西村町長

島内に避難所を確保していきたい



今田光弘議員

今田光弘議員
近年、大きな自然災害が日本各地で発生し、毎年のように大きな被害が出ている。
小値賀では、特に台風の影響が懸念されるなか、15カ所が避難所として指定されている。

納島・斑島にも必要
問 納島・斑島地区の指定避難所は中学校の体育館。斑浦地区は小学校の体育館だ。
納島や斑島にも避難所が必要ではないか。

答 西村久之町長
両地区とも、気象状況によっては移動が困難となることも想定され、島



風の強い日の避難は困難です

内における避難所の必要性は感じています。
早急に施設の方向性を決定し、避難所として指定できる施設を確保していきたいと考えています。

防災安全ガラスを
問 先の台風19号では、千葉県で避難所のガラスが割れる被害が複数あった。
避難所の窓ガラスを割れにくく、仮に割れても破片が飛び散らない「防災安全ガラス」に順次、交換すべきではないか。

とりあえずの対策として、飛散防止フィルムを貼ってどうか。

答 ご指摘の「防災安全ガラス」への交換も含め、雨戸の設置や、飛散防止のフィルムなど、施設に応じた対応策を考えていきたいと考えています。

備蓄は順調か

問 指定避難所の物資の備蓄は順調に進んでいるか。

また、適切な場所に配置されているか。

答 現在、役場の倉庫内に非常食1200食と非常用毛布100枚を保管しています。

離島地域には、各公民館に非常食を保管しています。

今後は、避難所における生活支援物資の備蓄を行っていきたく考えています。

問 常備薬や衛生用品などはすぐにでも必要ではないか。

また、備蓄状況の公表はしないのか。

答 来年度以降に充実させ、公表も行っていきます。



最低限の非常食 1200 食分を確保 (小値賀町)



できればこのレベルの備蓄を (兵庫県伊丹市)



毛布以外の備蓄も必要です (小値賀町)



各家庭でも3日分の備えを (兵庫県伊丹市)

～質問を終えて～

「命を守る行動を」という言葉を何度も聞いた令和元年でした。

小値賀でも特に被害が大きかった台風19号は、平成3年9月。あれ以来28年が経ちます。

地球温暖化の影響もあり、この先「スーパー台風」が日本を直撃する可能性も高いと言われています。

他人事だとは思わず、日ごろの備えは、まず自分から。

執行部の皆さんも、防災・減災に対する意識を高め、災害に強い町を目指してほしいと、質問を終えて改めて強く感じました。

段ボールベッドも

問 避難生活が数日続く、いわゆるエコノミー症候群が大きな問題となる。

これを防ぐために有効と言われているのが「段ボールベッド」。段ボールメーカーに、いざという時に提供してもらおう防災協定を結び、町として備える考えはないか。

答 本町では現在、介護予防センターを避難所として開設し、畳敷きの部屋で、できるだけ体に負担がないように配慮しています。

また、支障をきたす方は、「値賀の里」・「社会福祉協議会」へも避難できるよう、協定を結んでいます。

今後は生活支援物資の備蓄を進めたいと考えており、段ボールベッドも含めて検討します。

町長!

宮崎議員

国土強靱化地域計画策定を

西村町長

策定に向けて準備を進めたい

「国土強靱化地域計画の 必要性について」



宮崎良保議員

宮崎良保議員

国は平成25年に国土強靱化基本法を制定し、「強くてしなやかなニッポン」を基本理念に、今後発生し得る大規模災害から住民の生命と財産を守り、迅速な復旧・復興を図るため、**国土強靱化地域計画**※③を策定するよう促している。

当町でも策定を

問 小値賀町においても、今後の安心安全な町づくりのためには、国土強靱化地域計画の策定が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答 西村久之町長

当町では、災害から町民の生命・身体・財産を守るための施策として、「小値賀町地域防災計画」を作っていますが、地域の防災力の底上げに、大きく寄与する「国土強靱化地域計画」は作っていません。



※③「**国土強靱化地域計画**」

この取組は、大規模自然災害等による被害を回避するための対策や、地域の現状のどこに問題があるかを
知ることから始まります。

そして、これから何をすべきか、その対応策を考え、
重点化・優先順位をつけて
進めていきます。

社会全体として、大規模災害での被害を可能な限り
少なくする取組みを進める
ものです。

問 集落の周りの松林は、人命と財産を守り、農業や漁業経営にも大きく貢献している。

しかし毎年の防除活動にもかかわらず、松くい虫による被害で松枯れが広がっている。

枯れることで土がもろくなり、今後の降雨によって崩落等の被害が多発することが予想される。

実際に今年、町内で県道や町道、農地や山林など20力所以上で災害が発生した。

いついかなるところで激甚災害が発生してもおかしくない状況だ。

これらの災害に対応し、住民の生命と財産を守るためには、ハード・ソフト面での防災と減災対策が課題であり、国・県と連携をとった対策が必要だ。

答 法的にこの計画の策定義務はありませんが、町には事前防災に取り組む責務があります。

町民の安全・安心な生活を確保するためにも、計画策定に取り組んでいきたいと考えています。

ただ計画の内容が幅広く事務量も多く、さらに専門的な職員がいらないことから、なかなか進められないというのが現状です。

今後、計画策定に向け、

予算も検討しながら、準備を進めていきたいと考えています。



こんなところが崩れるとは 誰も思っていませんでした(大浦地区)

～質問を終えて～

今回の質問は、長年自然と共有し、町民の生命と財産を守ってきた松林の荒廃が、今後の強い台風の接近において及ぼす危険性を懸念し、何らかの対応が必要と考えました。

そういった中、国土強靱化地域計画策定の情報が入りました。

小値賀町が現在未定と言うこともあって質問しましたが、策定に向けて準備を進めたいとの答弁を頂きました。

今後とも、推移を見守りたいと思います。

次々頁※④「地域包括ケアシステム」

高齢者の多くは、住み慣れた地域や自宅で日常生活を送ることを望んでいます。

一方、地域内で介護が必要な高齢者を効率良くサポートするためには、家族や医療機関、介護の人材が連携する必要があります。

そこで、地域における、住まい・医療・介護・予防・生活支援の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制を構築しようというのが、地域包括ケアシステムです。

次々頁※⑤「サテライトオフィス」

本社や本部から離れた所に設置されたオフィス。

勤務者が通勤混雑を避けたり、移動時間を短縮したりするために設けることが多く、遠隔勤務するための通信設備などを備えます。

非常時の本社や本部のバックアップ機能としても考えられています。

次々頁※⑥「FES自給圏」

内橋克人氏が提唱。

真の地域自立は、FES自給圏の形成をめざすところから始まる、と訴えました。

F は食・農

E エネルギー

S はケア(医療、介護、福祉、教育、その他あらゆる人)を表します。

町長!

「地域包括ケアシステムの現状とあり方について」



近藤隆二郎議員

近藤議員

地域包括ケアシステムに力を

西村町長

サービスの充実と連携を図りたい

近藤隆二郎議員

地域コミュニティの存続には、高齢者や障がい者も地域を支えるメンバーとして位置づけることが必要だ。

課題と評価は

問 地域包括支援システムの構築にあたり、その評価と課題は。

答 このシステムには、各種サービスの充実や地域の助け合いなどさまざまな要素が含まれ、客観的に評価することは難しいと思います。地域の人や専門的な立場の人も含めた各種サービスの充実と関係機関との連携を進めます。

地域ケア会議は

問 地域ケア会議は積極的に開催しているか。介護のほか、健康管理センターや診療所などとの連携はできているか。

答 専門職が中心となり、担当ケアマネ、薬剤師、理学療法士、歯科医師、歯科衛生士などとも連携し、積極的に行っています。

空き家の活用を

問 町内各地の空き家を改修し、地域包括ケアシステム※④(前頁)のセンターとして整備してはどうか。

答 町内には各住民セン

ターのほか、「介護予防センター」や「尼忠東店」などがあり、集いの場になつていきます。使い勝手やバリアフ

リーの問題もありませんが、ニーズを把握しながら対応していきたいと思っています。



小学生からお年寄りまで集う尼忠東店

町民を巻き込んで策定を

西村町長

町民とともにたたき台の作成から

近藤隆二郎議員

町の総合計画は、町の今後の指針を示す重要な計画で、次期策定まであと4年と迫っている。

“ONE TEAM”の

問 まず将来目指す方向・目標を町民が考え、地区ごとにシナリオを作り、それを集めて計画を作ってはどうか。

役場、各種団体や町民が危機感を共有し、「ONE TEAM」として同じ方向・目標に向かって進むことが大切だ。

答 西村久之町長

「町民が主役のまちづくり」を実践するため、たたき台を作成する段階

から、幅広く町民の皆さんにも入っていただきたいと思います。

一島一町のメリットを活かし、町で一つの協議会というイメージで進めていきたいと思っています。

30年後の小値賀は

問 人口減少や経済縮小の中で、町の30年後をどのように描くか。

例えば、F E C 自給圏の形成を目指すなど、長期スパンのシナリオを具体的に説明してほしい。

答 まずは第一次産業で

生活していけるような基盤整備を行い、後継者の確保・育成を図ります。

観光産業の定着・発展を図り、人口と観光客の増加に結びつけます。

サテライトオフィスの誘致にも力を入れます。そして何より、将来を担う子供たちの教育の充実を一番に、来年度からの離島留学をはじめ、ICTやAI機器の有効活用による教育を進めていきたいと考えています。

※⑤(前々頁)



～おれにも言わせて～

～傍聴席からひと言～

離島留学制度がどうなっているかわからない。もっとPRを。

～私にも言わせて～

～傍聴席からひと言～

執行部に任せるのではなく、議会でも並行して作成し、合わせてより良いものに。

～おれにも言わせて～

～傍聴席からひと言～

小値賀は高齢化でマンパワー不足。だから観光産業を伸ばし、積極的に若者を呼びこんで人口増加につなげた方がいい。

～質問を終えて～

町がどのような方向性で未来ビジョンを考えているのかを示すことは、小値賀がワンチームになるために必要なことです。

ぜひ、地域包括ケアシステムを土台にして、小値賀版「FEC 自給圏」をつくりあげたいです。

町長!

「公共施設等総合管理計画について」

浦議員

住民センターの建て替えは？

西村町長

地元負担が無いように考えていきたい



浦英明議員

浦英明議員

町内の公共施設は老朽化が進み、改修や更新の時期を迎えている。どのように対処するか伺う。

住民センターは

問 旧耐震基準の時代（昭和56年以前）に建てられた住民センターはどうなるのか。

答 西村久之町長

町内の6つの住民センターすべての老朽化調査を行いました。

その結果を踏まえ、各地区の今後の活用やあり方などについての意向も伺い、建て替える場合は町が建て、地元負担は無いようにする方法を考えていきます。
維持管理は地元でと考えています。

ごみ焼却場は

問 ごみ焼却場は建て替えか、大規模改修して延命化するのか。それとも町外に搬出するのか。

答 施設の建て替え、施設の延命化、町外搬出のコストを比較検証した結

果、町外への搬出が一番安価だとの結論が出ています。

そのため現在、町外搬出として、距離的に近い新上五島町へ、可燃ごみの受け入れの検討をお願いしています。



すでに2度の大規模改修をしています

し尿処理施設は

問 プラント系の老朽化対策は。し尿処理場を廃止して下水処理場に一元化するのか。

答 現在の状況としては、し尿処理施設は廃止する方針です。

農業・漁業各集落排水施設については、機能診断などを行い、その結果に基づき、統合が最適かどうか判断します。

財源は

問 膨大な費用を要すると思うが、事業費と財源は。

答 財源はこれまで同様、国、県の補助金や交付金のほか、起債等の有利な財源確保に努め、少ない一般財源の持ち出しで、大きい事業効果が得られるように努力していきます。



西目にある笛吹浄化センター（下水処理場）

問 実質公債費比率が5年後には現在の2倍の10パーセントになると総合計画に書かれているが、なぜ増えるのか。

答 今後の事業計画に基づいて計算した結果、実質公債費比率は10パーセント近くになったため、これを超えないことを目標としています。

町民に説明を

問 5〜10年の中長期的な財政計画を立て、それを町民に説明する考えはないか。

答 来年度中には財政計画を作成し、私が就任当初から公言しているとおり、情報を公開していきます。



指定避難所にもならない斑住民センター

～質問を終えて～

地区住民センター（公民館）は、改修工事等には40%の地区負担があります。

新築した場合、事業費の負担が重くのしかかり、地区運営が厳しくなることが予想されます。

少しでも地区の負担を減らす考えから、利用料という目的で無理のない支払方法を考慮してもらえたら良いな、との思いで質問しました。

しかしながら、負担金0円（タダ）で新築（耐震補強）するとは驚きでした。

～おれにも言わせて～

～傍聴席からひと言～

長期の財政計画とマネジメント（経営）は一体のものだ。
更新時期が近付いている中で各施設のデータを整理しないと計画は立てられないはず。専門家に協力いただいて人口減少も踏まえ、早々に検討を手掛けることを期待したい。

総務省地方財政審議会委員 星野菜穂子氏

日本自治学会 青山彰久氏

日本総合研究所 井熊均氏

東京大学公共政策大学院客員教授 増田寛也氏

全国市町村議会議員特別セミナー

地方を消滅させないために大胆な改革を

主な講義内容は

- ① 日本の地方財政の特徴と地方財政計画でみた姿。
- ② 人口減少の危機をおおる風潮と地方議会と地方議員のミッション。
- ③ 最先端技術で変わる地域と自治体の未来。
- ④ 2040年に向けた自治体の課題と展望。

青山氏と増田氏の考え方が相反することが多々あったものの、二人の共通点は、地方消滅の阻止に対して、常識にとられない本質的、かつ大胆な改革が必要であるということでした。

また出席者は北海道から沖縄県までの243名で、うち女性は36名。3時間ほど各議員との交流会があり、ここでも大変有意義な時間を過ごすことができました。

(黒崎政美)

長崎県内町議会委員長研修

専門家を招いて少ない議員の手助けを

委員会運営についてのさまざまな課題や問題点をわかりやすく解説していただきました。

特に大きな主な問題点としては

- ① 5〜6人程度の委員会構成（まさに当議会がそうです）で、多種多様な住民の意思を反映することができるとは。考えがまたよってしまうのではないかな。

② 議会は住民や企業など、サービスを受けている側の人の話を聴くことが必要だが、少ない議員数で果たして十分にできるのか。

議員の仕事の範囲が広がっているにもかかわらず議員数は減り、議員一人当たりの仕事量は格段に増えています。

専門家を積極的に招いて議会の手助けをしてもらうことも重要だとアドバイスもいただきました。

(今田光弘)

新潟県立大学准教授 田口一博氏

流通経済大学教授 龍崎孝氏

全国市町村議会議員研修 一年生議員のために

初志を忘れない 理想を語ることを忘れない

主な講義内容は

- ① 議会と議員、議員の身分と職責。
- ② 地方自治制度と地方議会。
- ③ 地方議会の活性化と議員の役割。

一般質問は大切な権利であり、オープンな場で議論し、政策課題化することが大切という点も心に残りました。

議員には多種多様な人がおり、話し合いが必要で、場合によっては割り切ることも大切とのことでした。議員はあくまで住民代表であり、住民にとって妥当な判断かを常に考えることを学びました。

初志を忘れないこと。理想を語ることを忘れない。でも、肩肘は張らないことを学び、減収と財政難の中では、「あれもこれも」から「あれかこれか」という判断が重要であることを学びました。

(近藤隆二郎)

静岡県立大学教授 小西敦氏

全国市議会議長会 元橋謙治氏

明治大学研究特任教授 中邨章氏



「〇〇島の環境保全にご協力をお願いします。
入島料は券売機でお支払いいただけます。」

もし野崎島にこんな制度があったら あなたは入島料 支払いますか？



入島料は300円 任意で支払います

野崎島が世界遺産登録後、観光客が増え、今まで以上に自然や文化遺産の荒廃が心配されます。野崎島の自然や文化遺産を守るためにはどうしたらいいか。議会では、野崎島に入島する観光客本人に協合金や入島料を求め、野崎島を守る取り組みができないか、継続して協議をしてきました。

竹富町は今年9月、日本で初めて地域自然資産法を活用した入域料の徴収を始めました。



この取り組みを本町でも活用できないかと考え、11月に総務文教厚生常任委員会と産業建設常任委員会の代表各2名にて現地視察を行いました。

沖縄県竹富島は人口約350人。一方、観光客は年間50万人以上が訪れています。

そのため、生態系の破壊・かく乱、里山の劣化など、自然環境への影響だけでなく、石垣島から送水される飲料水にも限りがあるなど、島民の生活への影響も大きくなってきています。



自然環境を保全し、将来の世代に引き継ぐための労力や資金について、長年にわたり、公的資金(税)の導入や入域料、



寄付金などについて検討を続けてきました。そして地域自然資産法が平成27年4月に施行されたのを機に、この法律に基づき、島の保全活動を目的とした入島料(協力金)制度を今年9月1日に開始しました。

野崎島には自然遺産だけでなく多くの文化遺産もあり、人と自然と社会の共生を目指してさらに協議検討を続け、本町にあった施策の提言ができるよう努めていきます。



船の運賃に上乗せする方法がベストのようですが



「託児ルーム」を初めて設けました



「シンポジウム開催」

(表紙の写真)

小値賀の未来をどう描いていくか、未来を担うのは誰か、というテーマでシンポジウムを開きました。
3つの質問に、YESかNOか、色紙で答えていただきました。

おしらせ

「ギカイの窓」 やってます

議会では、町民の皆さんのいろいろな意見を伺い、議会活動へ反映させようと「ギカイの窓」を開設しています。
「議会版ワンストップ相談窓口」です。

議会に対する質問、意見、要望、相談や提言など、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる場を設けたものです。
まずは電話かメールで、議会事務局にご連絡ください。

相談は原則として、役場3階の議員控室で行います。
相談する議員は指名も可。指名がなければ、相談内容により当方で決めます。
相談内容の記録や公開は、ご希望に応じます。
なお、公共の福祉に反するような個人的な要望等には対応できませんのでご了承ください。

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp



小値賀町議会
Facebook

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



Web 版議会だより
「ちいき本棚」

編集後記

皆様にとって今年はどうな1年でしたか？
作年の世相を表す漢字は「災」でしたが、今年も大型台風による大規模災害が多発し、特に土砂崩れや堤防の決壊による痛ましい事故が発生しました。
小値賀町では50年に一度という体験したことのない大雨が降り、初めての避難勧告が出され、斜面の崩落等の被害が出ました。

地球規模の気候変動、想定を次々と越えてくる災害。近年のスーパー台風や洪水は地球温暖化の影響が大きいとも言われています。

目先の利益でなく、将来を見通し今からコツコツと温暖化を阻止することが大切です。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らす工夫を凝らし、皆で声をあげましょう。「ストップ・ザ・オゾンダンカ」!!

(編集委員 浦 英明)